



2009年2月24日

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

## 日本株式市場の下落と今後の見通しについて

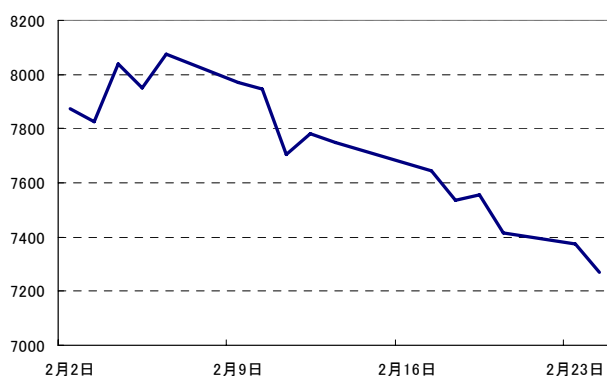
本日の日本株式市場は、朝方から売りが先行し、日経平均は前場で7155円16銭まで下げ、昨年10月27日に付けたバブル経済崩壊後の終値ベースの最安値（7162円90銭）を下回りました。またTOPIXも前場に717.85ポイントをつけ、昨年10月28日に付けたバブル経済崩壊後の取引時間中の最安値（721.53ポイント）を更新しました。

最終的に日経平均株価の終値は前日比107円60銭（1.46%）安の7268円56銭、TOPIXの終値は前日比5ポイント（0.68%）安の730.28ポイントで引けました。

23日の米株式市場でダウ工業株30種平均は3営業日続落し、前週末比250ドル89セント安の7114ドル78セントと1997年5月以来、約11年9カ月ぶりの安値で取引を終えました。米大手銀行シティグループへの追加支援をめぐる報道や、米金融監督当局が共同で米銀行システムを支援するとの声明を発表したこと、足元で国有化の思惑などから急落していた米銀大手株を中心に買い戻しが優勢となり、朝方に相場は高く推移する場面がありましたが、世界的な景気悪化や、企業収益の不振等から、素材や一般産業、ハイテク株等に売りが出て下落に転じました。

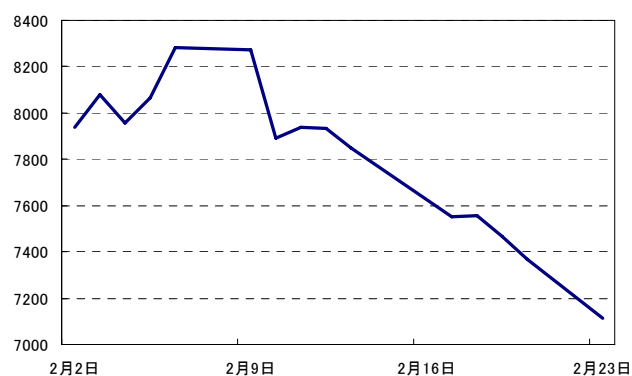
日経平均株価

(2009/02/2～2009/2/24)



ダウ工業株30種平均

(2009/02/2～2009/2/23)



出所：Bloomberg(2009/02/24 現在)

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



日本株式市場もこれを嫌気し幅広い銘柄に売りがでました。さらに韓国や香港などのアジア株式市場も大きく値を下げたことから一層の下げ幅の拡大につながりました、しかし為替相場が1ドル=95円台前半と円安に振れたことから、一部の輸出関連株が上昇し、与謝野馨財務・金融・経済財政相が株価対策に言及したことなどから株価は下げ止まり、終値ベースで安値の更新にはいたりませんでした。

#### 【今後について】

世界同時不況の波が金融不安から実体経済へと波及し、日本においてもマクロ経済統計で戦後最悪の数字が相次いで発表されていることなどから、今後しばらくの間、不安定な相場環境が想定されます。

しかしながら、以前から申し上げておりますが、中長期的には、日本株は歴史的に割安な水準となっており、ファンダメンタルズを無視した水準まで売られている銘柄も散見されています。中長期的に市場環境が落ち着けば、海外投資家の買い戻しや、企業の実体価値に注目した投資家の買いが入るものと思われれます。また、欧米と比べ相対的に日本企業には財務体質が健全な企業が多いことなども、日本株の見直しのきっかけになると考えております。

今回の不景気によって、日本企業には業界再編などの様々な変化が起こり、これまで以上に企業格差が生じる可能性があります。今後も市場環境の変化を好機と捉え、次の局面で大きく活躍できる企業を徹底したボトムアップ・リサーチにより発掘し、投資していきたいと考えております。

---

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



## 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式、公社債および不動産投資信託証券などの値動きのある証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等を要因として、基準価額の下落により損失が生じ、投資元本を割り込むことがあります。

ロング・ショート戦略のファンドは売建て（ショート・ポジション）取引を行いますので、売建てた株式が値上がりした場合、基準価額が下落する要因となります。また、ロング・ポジションおよびショート・ポジションの双方が誤っていた場合、双方に損失が発生するために、通常の株式投資信託における損失よりも大きくなる可能性があります。

上記は投資信託に係るリスクの一部を記載したものであり、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際は投資信託説明書（目論見書）および目論見書補完書面の内容をよくお読みください。

投資信託は、預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関は、投資者保護基金には加入しておりません。投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。

## 追加型公募投資信託に係る費用について

スパークス・アセット・マネジメント株式会社における追加型公募投資信託に係る費用の上限は以下のとおりです。

### ●直接ご負担いただく費用

申込手数料	: 上限 3.15% (税込)
解約手数料	: なし
信託財産留保額	: 上限 0.5%

### ●投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬	: 上限 1.995% (税込)
実績報酬 (※)	: ファンドにより、実績報酬がかかる場合があります。

※ 実績報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

---

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



## ご留意事項

上記に記載しているリスクや費用の項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が設定・運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なります。

投資信託の取得のお申込みをする場合には、販売会社から投資信託説明書（目論見書）および目論見書補完書面をあらかじめお渡ししますので、必ずお受取りになり、投資信託説明書（目論見書）等の内容をよくお読みいただいた上、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 346 号

（社）投資信託協会 （社）日本証券投資顧問業協会

---

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。